

いろいろ

彩のお話会

～ふたりで安房直子～

児童文学作家 安房直子さんの色彩豊かな文学作品に触れてみませんか

小学校の国語の教科書にも載った「きつねの窓」を始め、どこか懐かしさを感じる物語の数々。大ファンの二人が語ります。 大人も子どもも どなたでもどうぞ。

●日時:令和7年11月24日(月・祝) 13時30分～15時40分
(13時10分開場)

●会場:並木北コミュニティハウス ●入場無料

安房直子さんの作品を朗読し紹介します。彩あふれる時間をご一緒に。



海からの電話

紙芝居:ゆやま くみこ



日暮れの海の物語

朗 読:里実 和佳



ブックトーク～好き勝手に安房直子～

作品の特徴について
私たちの好きな作品紹介



すずめのおくりもの

朗読劇:ゆやま くみこ



きつねの窓

朗 読:里実 和佳

★申込:10月20日(月)9:00 から (来館又は電話でお申し込みください。)

・並木北コミュニティハウス (金沢区並木 1-7-1 並木第一小学校内)

・TEL:045-774-3405

★協力 : 富岡本の会 ★金沢読書フェスティバル 2025 参加事業

【作家紹介】^{あ わ}安房 ^{な お こ}直子

1943年東京生まれ。子どもの頃から、グリム童話、アンデルセン童話、アラビアンナイトなどを愛読する。日本女子大学国文科卒業。在学中より山室静氏に師事し、多くの童話を執筆する。

同人誌『海賊』の創刊に携わり、数々の美しい物語を発表した。「さんしょっ子」で日本児童文学者協会新人賞、『風と木の歌』で小学館文学賞を受賞した他、様々な作品で受賞多数。また、多くの作品が教科書に掲載されている。

1993年永眠。根強い人気があり、死後も新しい装丁や挿絵で作品が世に送り出されている。



作品リスト（一部）



童話集『白いおうむの森』（偕成社）

「雪窓」「白いおうむの森」
「鶴の家」「のぼらの帽子」
「てまり」「野の音」
「ながい灰色のスカート」

絵本（金の星社、小学館など）

『はるかぜのたいこ』絵：葉祥明
『くまの楽器店』絵：こみねゆら
『きつねの窓』絵：いもとようこ
『ひめねずみとガラスのストーブ』
絵：降矢なな

童話集『風と木の歌』（偕成社）

「きつねの窓」「さんしょっ子」
「空色のゆりいす」「夕日の国」
「もぐらのほったふかい井戸」
「鳥」「あまつばさんとやさしい
女の子」「だれも知らない時間」

『すずめのおくりもの』（講談社）
『ハンカチの上の花畑』

（あかね書房）

「だんまりうさぎ」シリーズ

（偕成社）

安房直子絵ぶんこ（全9巻：あすなろ書房） **並木北コミュニティハウスで貸出中！**

「ふろふき大根のゆうべ」「猫の結婚式」「遠いのぼらの村」
「空にうかんだエレベーター」「雪窓」「ひぐれのお客・初雪のふる日」
「北風のわすれたハンカチ」「海の館のひらめ」「あるジャム屋の話」

【演者紹介】

ゆやま くみこ

横浜市金沢区在住。富岡本の会会員。

ミュージカル劇団サムシング出身。金沢紙芝居の会「かなみん」メンバー。紙芝居ニストゆやまくみことしても活躍中。

富岡のコミュニティサロン「ジュピのえんがわ」にて定期的に紙芝居を実施。

2022年10月より金沢シーサイドFMパーソナリティ。音楽会のMC多数。

^{さとみ}里実 ^{わ か}和佳

横浜市金沢区在住。富岡本の会会員。

「金沢おはなしネットワークウエズランディア」代表。

学生時代から活動を始め、金沢区では20年以上読み聞かせやブックトークの活動を実施。区内の小・中学校での本のボランティア活動多数。

本を通して様々な人と繋がりたいと考えている。ライフワークは「里見八犬伝」語り。（名前の“里実”は、“里見”から）

【今後の予定】

今回の「彩のお話会～ふたりで安房直子～」の半年後位に、「幻想のお話会（または読書会）～みんなで安房直子～」ができるといいなと考えています。私たちと一緒に、安房直子さんの作品のお話会をしてみませんか？

お話会はハードルが高いけれど、安房直子作品の読書会・語る会なら参加したいという方も大歓迎です。読書会希望の方が多ければ、そちらに変更します。ご興味のある方は、当日お申し出ください。お待ちしております。

